

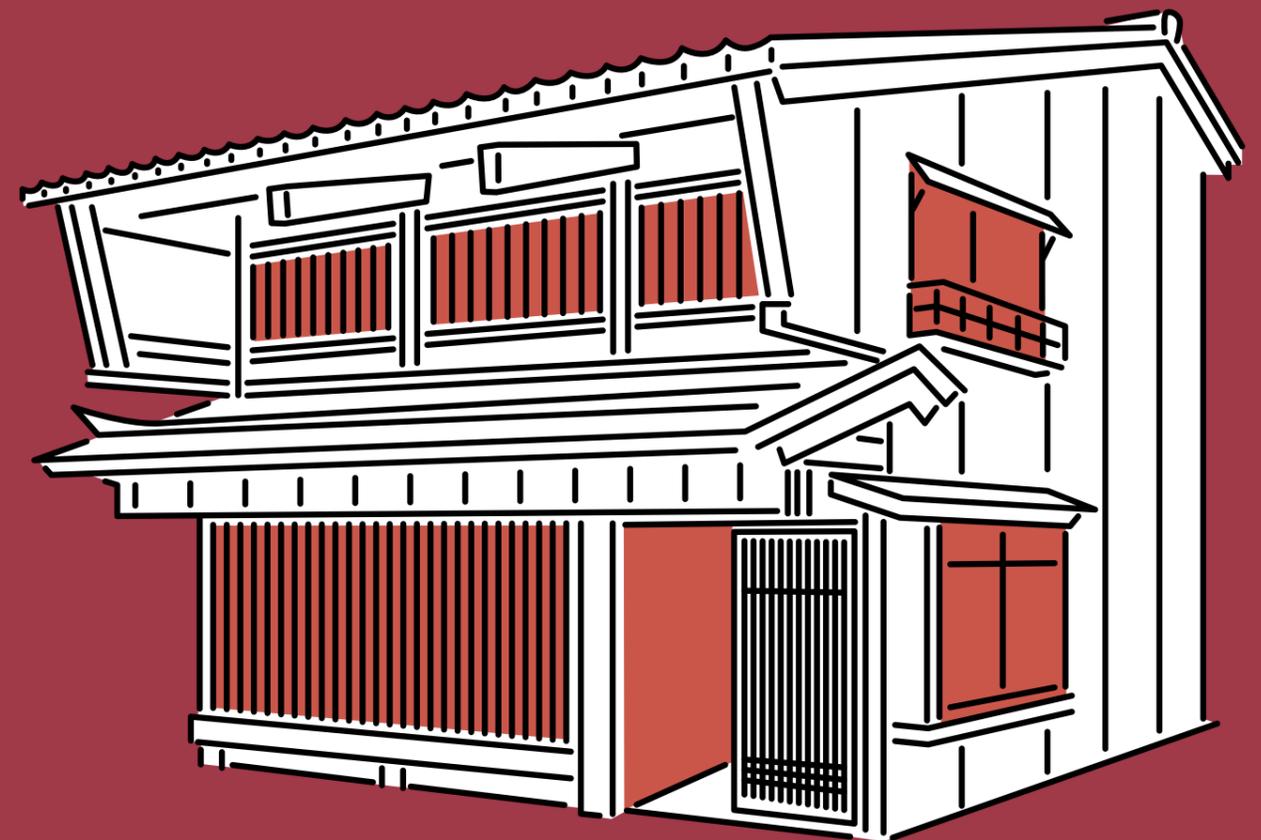
UDCS

UDCSレポート2018

REPORT

2018

BY  UDCS
Urban Design Center Sakai



UDCS
Urban Design Center Sakai

『UDCS REPORT 2018』

2019年6月発行

発行：一般社団法人 アーバンデザインセンター坂井

編集：松原ゆう/UDCS

デザイン：中村文信/SEWI

印刷：株式会社グラフィック

住所：〒913-0045 福井県坂井市三国町南本町3丁目6-51

電話：0776-50-3300 ※FAXも同一

メール：info@udcs.jp

<https://udcs.jp/>

Facebook：<https://www.facebook.com/udcsakai/>

Instagram：https://www.instagram.com/udcs_mikuni/

Twitter：https://twitter.com/udcs_mikuni



CONTENTS

P1-2

UDCSについて

01メンバー02設立の経緯03都市デザイン戦略04活動理念05活動拠点

P3-4

メンバー紹介

代表理事挨拶
事務局メンバーからのメッセージ

P5-8

活動報告

2018年度プロジェクト報告
日常のヒトコマ

P9-10

UDCSタイムライン

1年間の活動記録

UDCSについて

About Urban Design Center Sakai

UDCSが位置する福井県坂井市三国町は、江戸から明治にかけて大阪と北海道を結んでいた商船である北前船の寄港地として繁栄した湊町です。近年は、少子高齢化に伴う人口減少や、空き家・空き地の増加による歴史的な町並みの消失が大きな課題となっています。UDCSは、公・民・学が連携しながら、それらの地域課題を解決するためのまちづくりを推進するプラットフォームです。

01 メンバー

Members

UDCSは、正会員と賛助会員から構成される法人組織です。役員で構成される理事会で活動の方針などを決定し、執行組織である事務局がその運営を担います。入会は随時受付中ですので、事務局までお問い合わせください。

事務局メンバー

センター長	西村幸夫(東京大学 名誉教授/神戸芸術工科大学 教授)
副センター長	野嶋慎二(福井大学 教授)
副センター長	江川誠一(福井県立大学 講師)
副センター長	中島伸(東京都市大学 講師)
副センター長	矢吹剣一(神戸芸術工科大学 助教)※1
チーフディレクター	土井祥子(東京大学大学院 都市デザイン研究室)※1
サブディレクター	谷根康弘(坂井市 総合政策部 企画情報課 参事)
サブディレクター	田谷良人(株式会社 福井銀行 地域創生チーム)
サブディレクター	倉橋宏典(一般社団法人 三國會所)
サブディレクター	浜田剛(一般社団法人 三國會所)
アシスタントディレクター	高橋駿介(福井大学 工学部 建築・都市環境工学科)
アシスタントディレクター	平林淳子
アシスタントディレクター	松原ゆう
アシスタントディレクター	佐藤実寿恵
アシスタントディレクター	村田ひとみ

(2019年6月現在)

一般社団法人アーバンデザインセンター坂井 役員

代表理事	片岡誠治(リコージャパン株式会社 福井支社長)
副理事長	大和久米登(一般社団法人 坂井市観光連盟 会長)
副理事長	川上貴義(株式会社 福井銀行 三国支店長)
理事	倉橋光一(三国町二の部地区区長 会長)
理事	安野良弘(株式会社 福井銀行 三国支店長)
理事	半澤政丈(坂井市商工会 会長)
理事	長谷川啓治(一般社団法人 三國會所 副理事長)
理事	矢部良智(京福バス株式会社 部長)
理事	吉村恵理子(株式会社ピー・ティー・ビー 代表取締役)
監事	浜田貞二(福井信用金庫 三国営業部長)
監事	伊東尋志(えちぜん鉄道株式会社 専務)

※1: 2018年度は矢吹剣一がチーフディレクターを(2018年度)担当(当時の所属先: 東京大学)、2019年度より土井祥子がチーフディレクターとして着任しました。



※2: 公は行政や非営利組織(NPO等)、民は地域住民や民間企業、学は大学等の研究・教育機関を指します。

03 都市デザイン戦略

Urban Design Strategy

● 個別地域ごとの課題へ対応

人口減少時代の都市デザイン戦略として公・民・学連携によるアーバンデザインセンター(UDC)の手法を導入します。

また、合併前の旧4町(三国町/春江町/坂井町/丸岡町)それぞれの地域の特定課題に対応した戦略の立案と実践を推進します。

なお、坂井市でも人口減少先進地である三国町を対象とし、効果を検証しながら他地域へも拡大・応用を目指します。

● 活動対象地域

三国町を主な活動対象地域とし、特に旧市街地を重点地区と位置づけて活動を展開しています。



04 活動理念

Principles

● 坂井市(三国)のまちづくりの将来目標

「三国湊の歴史・文化と新しい感性との融合(変わらずに変わりつづける、新しいものを受け入れる湊町の気風)」
三国の歴史と文化を活かした空き家・空き地問題の創造的解決を根幹的な活動とします。

● 活動理念

- 「アーバンデザインセンター坂井は、地域で生きる人々が生き生きと暮らす活力を創出します」
- ・まちづくりに関わりたい人や組織をつなげ、まちづくりの輪を広げます。
- ・小さなアイデアを大きな夢に、まちづくりにチャレンジする人を応援します。
- ・地域の伝統や誇りを次世代に引き継ぐ活動を実施します。
- ・地域を盛り上げ、地域の価値を高め、失われた活力を取り戻します。

05 活動拠点

Facilities

名称	アーバンデザインセンター坂井
住所	福井県坂井市三国町南本町3丁目6-51
面積	230平方メートル (和室×3、会議室×2、事務室、前庭、土蔵)
開館時間	9:00-18:00(12/29-1/3は休館) ただし冬季期間中は17:00閉館



活動拠点である「アーバンデザインセンター坂井(UDCS)」(※3)は三国町南本町(旧町名:松ヶ下区)に位置する築130年以上の町家を改修しました。この建物は「かぐら建て」と呼ばれるこの地域独特の建築様式です。

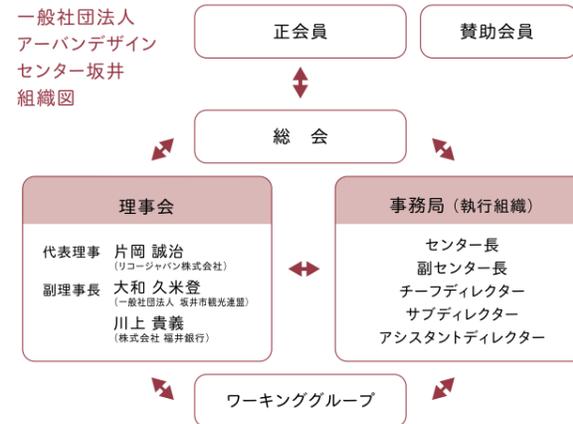
また、2019年春には土蔵を改修した「くららぼん」も完成しました。

※3: 当施設は坂井市の施設であり、一般社団法人アーバンデザインセンター坂井が指定管理者として運営しています(なお土蔵は一般社団法人所有施設です)。

メンバー紹介

Message from UDCS Members

UDCSは右に示した組織図のように成り立っています。今回は代表理事と、執行組織である事務局メンバーからのメッセージを紹介します。



代表理事挨拶

UDCSは、坂井市の活性化を目的として「公・民・学」が協力し、三国町をモデル地区として2018年に設立されました。当該地区で生み出された知見を他地区に応用していくことで坂井市全体のさらなる活性化を図るとともに、人口減少に直面した地方都市の再生のモデルになることを目指していきます。

リコージャパン株式会社 福井支社長 片岡誠治

事務局メンバーからのメッセージ



サブディレクター 07
谷根康弘
坂井市 総合政策部
企画情報課 参事

三国町出身。無類の三国祭馬鹿。大学の4年間を県外で過ごし、卒業後三国祭のためにUターンし、三国町役場に入庁。現在、坂井市役所に勤務しながらサブディレクターとしてUDCSに関わっています。UDCSができて1年余りですが、三国のまちが変わってきたと実感しています。今後も全力投球で理想のまちづくりを追い求めていきます。皆様、UDCSを宜しくお願いします。



サブディレクター 08
田谷良人
株式会社 福井銀行
地域創生チーム

坂井市との地方創生に関わる包括連携協定のもと、福井銀行地域創生チームとして、UDCS事務局にも勤務しています。主に総務・経理部門のサポートを担当しています。走り続け、変わり続けた設立初年度でしたが、UDCSが「これやってみよう」を出し合い、育て、実現する場であることを実感しました。みなさまのまちづくりのアイデアを、一緒に実現していきたいです。



サブディレクター 09
倉橋宏典
一般社団法人 三國會所

三国生まれ三国育ち。大学で西村幸夫先生の研究室へ所属したのがきっかけで、まちづくりを志しました。東京で都市計画コンサルタントに勤務後、2010年Uターン。現在は県庁職員。公共空間や空き家の利活用等を通して、三国祭などの地域文化、歴史の奥深さを感じられる町並み、自然、食などの溢れる地域資源を活かし、皆が楽しく暮らせるまちになるよう活動したいと思います。



センター長 01
西村幸夫
東京大学 名誉教授
神戸芸術工科大学 教授

都市計画・都市保全計画・都市景観計画を専門としています。UDCSのこのレポートの体裁をご覧になってすぐわかるように、このセンターは新しい感覚で、長い歴史を持った地域の問題に取り組んでいます。信頼のおける若い仲間たちと、地域の可能性について一緒に考え、行動することは楽しいことです。この動きに多くの仲間が加わってくれることを期待しています。



副センター長 02
野嶋慎二
福井大学 教授

都市計画・建築デザインが専門です。これまで地域社会の居住者と関わりながら研究と実践活動を行ってきており、今後も取り組みを展開していく所存です。研究では自律性に依拠したまちづくりの研究、まちづくり活動ではコミュニティ拠点「たわら屋(福井市)」や「和田de路地祭(高浜町)」の企画・立ち上げ、建築デザインではえちぜん鉄道三国駅舎や鯖江市西山動物公園の基本設計、UDCSの設計監修などを実施してきました。



副センター長 03
江川誠一
福井県立大学 講師

ここ三国から車で20分の所で生まれました。2010年にUターンし、坂井市をはじめとした福井県内を主なフィールドにして、観光まちづくりを専門に実践的な研究と教育を行ってまいります。自宅の筍掘りを春の日常的な趣味にしていますが、今年は外国人と一緒に収穫体験を楽しみました。三国の当たり前は他から見ると異常。そこに光を当てキラリ輝く特別な場所になりたいです。



サブディレクター 10
浜田剛
一般社団法人 三國會所

この1年で大きく変わったと感ずるのは、「自分たちのまち、三国」に関わろうとする人が増えたということ(もともと関わっていたけど目に見えるようになった!)。設立の準備段階からUDCSの役割を自分なりに考えていましたが、第1段階はクリアできたと思っています! 次の段階はUDCSに、日常の三国のまちに、いかに若い世代にゆるく楽しく関わってもらえるようにするか、だと思っています。祭を楽しんでる感覚で!



アシスタントディレクター 11
高橋駿介
福井大学 工学部
建築・都市環境工学科

大学では建築デザインと都市計画を専門とする研究室に所属し、様々なプロジェクトに関わっています。まちや人に必要とされる空間づくりについて学ぶため、UDCSのメンバーとして、裏蔵改修プロジェクトを中心に活動してきました。その裏蔵「くららぼん」を完成させ、住民の皆さんとともにもっとまちを楽しめるような空間づくり、仕掛けづくりを考えたいです。



アシスタントディレクター 12
平林淳子

2018年11月からADになりました、平林です。UDCSのある三国に暮らす中で、感じ、見てきたものがたくさんあります。歴史ある町並みの保全・伝統文化の継承・介護・福祉、青少年育成、観光などの面から、住民も、観光客も、三国に集うみんなが笑顔になるまちを目指していきたいと思っています。そして、そこにある風景、「あたりまえの素晴らしさ」を伝えていきたいと思っています。



副センター長 04
中島伸
東京都市大学 講師

東京都市大学にて、都市デザイン・まちづくりの研究と実践活動を行っています。UDCSも多くの方たちとの連携が動き出し、事業の本格稼働を迎える2年目です。気持ちを引き締めて、取り組んでいます。さらにUDCSができて「いいな」と思うのは、日常的に訪れる人と様々な暮らしの些細なことから密なコミュニケーションが始まっていることです。さらに輪を広げていきたいです。



副センター長 05
矢吹剣一
神戸芸術工科大学 助教
2018年度チーフディレクター

都市計画と都市デザインを専門としており、特に空き家・空き地の利活用による市街地の活性化などの研究をしています。ところで皆さん、「住んでいるまちでやってみよう」を自分の心の中に留めていませんか?UDCSは各自が持つそうしたアイデアを自由に話しあい、人と人とを繋ぎ、その実践を後押しするためのまちづくりの組織であり場所です。UDCSメンバーと一緒に三国町そして坂井市を盛り上げてみませんか?



チーフディレクター 06
土井祥子
東京大学大学院
都市デザイン研究室

三国のまちと出会って半年足らずの一番の新米ですが、素晴らしいチームの中に加えていただいていることの幸せと、UDCというものの可能性を日々実感しています。そして、オフィスから九頭竜川が眺められる環境の贅沢さも! 縮退する都市でこそ、アーバンデザインが求められるというところを、実践や研究を通じて、ひとりでも多くの人と分かち合いたいと思っています。



アシスタントディレクター 13
松原ゆう

UDCSに入り、初めて自分の故郷三国をひとつの「まち」として認識し、そこから見えた魅力や課題に向き合っていく楽しさを覚えました。人口減少が進むこの地域では、やはり若手プレイヤーを増やすことが重要です。三国高校PJのような教育的アプローチを続けながら、20代の活動フィールドをいかにまちにもってこるかが鍵だと思っています。私自身も積極的に学びつつ、UDCSと、このまちの成長に携わっていきます!



アシスタントディレクター 14
佐藤実寿恵

2019年4月よりUDCSのメンバーとして関わらせていただいております。三国湊には、素晴らしい歴史や文化がたくさんあります。「帯のまち」とうたわれる風情ある町並みや豊かな「食」に恵まれているこのまちは、私たちにとって誇りでもありますが、それらを次世代に伝えることが私たちの役目。その基盤となるまちづくり! まちのいろんな人の声を聞いてそれを実現できる場所、それがこのUDCSであるよう願います。



アシスタントディレクター 15
村田ひとみ

三国に生まれ育って三国から出たことがない私は三国大好き人間です。三国祭の囃子の指導を4代に渡り引き継いできました。三国大好き人間を増やしていくことが私の役割と頑張っています。私のすべてにおいての方針は「楽しむこと」。まちづくりにおいても、楽しめる空間で楽しめる仲間と、楽しめる時間をつくっていただけたいです。

活動報告

Project Report

2018年は、UDCS始動の年でした。三国町や坂井市に関わる各種団体(まちづくり団体や企業)、教育機関(高校や大学)や周辺住民の皆さんと連携しながら実施した各プロジェクトの概要をご紹介します。

01 空き家再生プロジェクト + 裏蔵プロジェクト(くららぼん) Renovation of Vacant Houses and Community Kitchen "Kurarabon"

UDCSでは北前船の寄港地として繁栄した三国湊の伝統的な町並みの保全のため、空き家(特に町家)情報の収集や活用の際の支援を行っています。具体的には空き家に関する相談の受付・情報の収集、坂井市の各種改修助成制度・空き家バンクの紹介を行っています。「空き家を持っているがどうしたらいいかわからない」という方は、まずはUDCSまで気軽にご相談ください。

くららぼん

UDCSでは、センター裏に残されていた築130年以上の土蔵を改修した新施設『くららぼん』(※4)を、2019年4月にオープンしました。『くららぼん』は三国町や坂井市の豊かな「食」文化を活かしたまちづくりを展開する活動拠点とする予定です。『くららぼん』という名前は、「くら(蔵)」と研究室を表す「ラボ」を足し合わせて名付けられており、郷土料理の研究や特産品を使った商品開発など、「食」を中心とした研究の場となっていくようにとの想いが込められています。



△ WSの様子



竣工式▷

当プロジェクトは野嶋慎二副センター長を設計監修者とし、福井大学SAB(※5)のメンバー(高橋AD含む)が基本設計を実施しました。設計では漆喰塗りの概観や笈谷石でできた蔵前空間の活用など、土蔵のもつ特徴を継承することが重視されました。また、内部の用途や詳細な設計内容については周辺住民の皆さんとのワークショップを計3回開催して議論し、内容を検討・確定しました。

※4: 本事業は福井県福井ふるさと茶屋整備支援事業補助金を活用して実施しました。

※5: 高橋駿介・佐々布雄仁・梅村直己・白鳥哉一・山口仰。全て福井大学工学部 建築・都市環境工学科。

02 三國湊まち歩きデジタルMAP Mikuniminato Digital Walking Map

坂井市、リコージャパン(株)、福井県立大学の公・民・学連携で行ったUDCS初の主要事業。学生が町並みを散策し、360度カメラなどを使って三国湊の魅力を切り取り、それらを地図と結びつけたものです。完成したデジタルMAPを手に取り、ポイントされたマークにスマートフォンをかざすと、学生が撮影した当該ポイントの映像を見られるなど、学生目線でバーチャルなまち歩き体験を行うことができます。このようなAR(拡張現実)対応マップによって、従来の地図やパンフレットでは伝わりにくい、三国湊の風情や息遣いが味わえるものとなっています。

(文:UDCS副センター長 江川誠一)



03 三國高校プロジェクト Mikuni High School Project

三国駅の裏側、坂を登ったところにある福井県立三国高等学校。すぐ近くにも関わらず、まち(旧市街地)で高校生の姿を見ることは少なく、そのつながりは希薄なものでした。

地域としては、三国のまちの魅力を知ってもらい、高校生をまちづくりのプレイヤーとして育てたい。高校としては、地域に根ざした教育プログラムを立ち上げ、魅力的な高校になりたい。お互いの目指すものが噛み合ってきたのが「三国高校プロジェクト」です。

● 総合学習「空き家を使ったイベント企画」

三国高校第1学年を対象に、各クラス1つの空き家や低利用住宅を担当し、高校生自らが企画を考え実現するという授業を実施しました。

まちに馴染みのなかった生徒たちは、三国祭での来訪者インタビューやフィールドワークで三国のまちを知ることから始め、「自分たちがまちにあったらいいと思う場所」を考え提案していきました。積極的に地域の人に話を聞いたり、三国の特色について調べる姿が印象的でした。

● 生まれ変わった4つの空き家

12月のイベント当日には、和室の懐かしさを活かした昔遊びができる「タイムスリップ店」やプロジェクターを使って海を再現した「水族館カフェ」など、4クラス分の個性的な空間がまちに出現し、空き家活用の可能性を実例をもって示しました。企画の実現には、物件の提供をはじめ、地元の店舗からの商品提供や装飾の協力など多くのまちの人々が関わっており、高校生と共に皆でまちの姿を変える1日となりました。

2019年度も三国高校ではまちをフィールドにした総合学習を実施しています。一過性のイベントで終わらず、高校生とまちとの関係を継続し深めることが今後の展望です。



(文:東京大学都市デザイン研究室 前山倫子)

04 三國湊夜咄会 Mikuniminato Night Chat

三國湊夜咄会は、三国にまつわる様々なトピックを語り合う会です。2018年度は隔月で計5回の開催となりました。

初回は三国祭前祭の夜に、倉橋SDによる「まちと山車との関係とは?」と題したレクチャーと、三国提灯を製作するいや提灯店の小島まりやさんによる「三国提灯のよもやま話」が行われました。第2回は矢吹CD(当時)による「アーバンデザインセンターって何だろう?」のレクチャー。第3回は三国の「食」について、三国の若手シェフユニットSUNS+と実際の料理を交えながらの会となりました。第4回は「釣り」をテーマに、三国で暮らすことや趣味を活用した空き家の利用法などを考え、第5回はUDCS裏の蔵の使い方を考えるワークショップを兼ねた会でした。

今後もより多くの方々と三国について考え、語る会として、引き続き夜咄会を開催していく予定です。ご参加お待ちしております!



05 丸岡空き家調査

Field Survey of the Surrounding Area of Maruoka Castle

UDCSでは三国湊同様、歴史的なまちの成り立ちや資産をもつ丸岡町との連携も今後の重要プロジェクトと捉えています。2018年秋には、坂井市丸岡町で活動する「一般社団法人 丸岡城天守を国宝にする市民の会(以下、市民の会)」と連携して丸岡城周辺地区での活動も開始しました。

具体的には、丸岡城の旧内堀内の地区を対象に地域の生活環境の実態を把握するための居住意向調査を行いました。調査の設計やアンケート及びインタビュー調査はUDCSメンバー(中島・矢吹)と東京大学・福井大学の学生が実施しました。調査結果は今後のまちづくり(※6)に活用されます。

※6:市民の会では現在、福井ふるさと茶屋整備支援事業を活用して寄り合い所の整備を実施中です(検討会にはUDCSから浜田が参加)。



丸岡まちづくりフォーラム

3月26日には、調査結果の報告会を兼ねた、丸岡城周辺地区の将来のまちづくりのあり方に関して議論するシンポジウム「丸岡まちづくりフォーラム」を開催しました(於:たかむく古城ホール)。ゲストにはランドスケープアーキテクトである(株)フォルクの三島由樹氏(元・東大助教)をお呼びし、学生が活躍する加賀市での取り組みについてご講演頂きました。



06 西村文庫

Nishimura Library

当センター長の西村幸夫先生より、東京大学教授時代に収集した研究資料の一部をご寄付頂きました。UDCSでは、それらの書籍を「西村文庫」として、館内で閲覧できるようにしてあります。

西村文庫は、北陸三県(福井県・石川県・富山県)に関連する蔵書から構成されており、当該地方を研究する研究者や郷土史などを学ぶ方にいつでも利用頂けます。(ただし、当面は館内利用に限ります。)各地方の歴史や文化、まちづくりについて、UDCSで学んでみてはいかがでしょうか?



07 UDCSグッズ作成

UDCS Goods

UDCSオリジナルグッズの第1弾はデニムバッグ。入会特典として会員の皆様にお配りするとともに、1,500円(税込)で常時一般販売も行っています。

そして第2弾はパーカー。UDCSスタッフがイベントなどで着用するユニフォームとして作成し、3,500円(税込)で一般販売もしております。

第3弾はいとや提灯店さんとコラボして作った手ぬぐい。三国祭で各家が掲げる旧町内全ての提灯をデザインした手ぬぐいで、三国祭にてほぼ完売いたしました。



△ バッグ

△ パーカー

△ 手ぬぐい

08 イベント

Events

UDCSでは、まちづくり活動を実践しているゲストをお呼びし、講演会などを企画・実施しています。また、東京大学の調査研究報告会や西村幸夫町並み塾のように、大学や他のまちづくり団体が主催するイベントへの協力も行っています。

2018年度に開催した主なイベントをご紹介します。



UDCS 03/24

竣工記念フォーラム

UDCS本館の竣工に合わせて開催したフォーラム。東大の研究発表に加えUDCSの今後の展望について議論を行いました。UDCSにて竣工式・内覧会も開催。



西村幸夫町並み塾 06/30

西村先生をホストに全国の町並み保存等の実践者が講演を行う会。第57回は一般社団法人ノオトの金野幸雄氏を招き西光寺で開催。約100人が話に聞き入りました。



公・民・学連携のまちづくり 11/27

～UDCに関するミニ講演会～
全国初のUDCであるUDCK(柏の葉アーバンデザインセンター)に関わる柏市と三井不動産(株)の方々に、UDCKの取り組みなどについてご講演いただきました。



一般社団法人UDCS 01/19

設立記念パーティー

UDCSの一般社団法人化を記念した立食パーティー。約60名の方々にご参加いただき、UDCSや大学生が考案した40のまちづくりアイデアへの投票も行いました。



東京都市大学 02/26.27

北見幸一先生レクチャー

マーケティングや広報戦略を専門とする北見先生をお呼びし、UDCSメンバーや坂井市役所職員がPR(パブリック・リレーションズ)について学び、意見交換を行いました。



2018年度 03/27

三国まちづくり研究報告会

東京大学都市デザイン研究室三国プロジェクトに携わる学生3名が、三国に関する研究報告を行いました。その後、参加者の方々の意見交換会も実施しました。

日常のヒトコマ

UDCSには100円コーヒーやFree Wi-Fi、ベビーベッド、休憩スペースなどがあり、どなたでも気軽に立ち寄っていただける空間となっています。三国の昔話をしにくる住民の方がいたり、婦人会の会合があったり、高校生が宿題をしに来たり、小学生が遊びに来たり。目的はなくても、ふらりと立ち寄ったUDCSで、事務局メンバーや地域の方々とりとめのない話をする中、「こんなことやってみたい!」「じゃあこうしてみたら?」「あの人を紹介するよ!」と、アイデアが広がっていくのがここでの日常です。やりたいことがある人は相談にお越しください!何もない人も、是非一度立ち寄ってみては?UDCSには、様々な想い、情報、知識が集まっています。



UDCSタイムライン

UDCS Time Line 2018 - 2019

2018年3月から2019年5月までにUDCSで実施した主なプロジェクトやイベントを年表形式でまとめました(※7)。

※7:この年表で示した活動のほかに、事務局での会議や理事会、各方面でのレクチャーの開催なども行っています。

2018

- 3月 24日 | アーバンデザインセンター坂井(UDCS)竣工記念フォーラム
築130年以上の町家を改修した活動拠点がオープン。フォーラムと竣工式を開催。
- 4月 01日 | アーバンデザインセンター坂井(UDCS) オープン
スタッフの着任とともに事務局が本格的に活動を開始。
- 5月 19日 | 第1回 三國湊夜咄会 開催 (三國祭前祭)
三國のことをざっくばらんに語りあう三國湊夜咄会がスタート。初回のテーマは「祭」と「提灯」。
- 20日 | 三國寄り合い処 開催 (三國祭本祭)
東京大学がUDCSを活用したイベントを実施。三國高校生がサポート。
- 26日 | 任意団体「坂井市アーバンデザインセンター」設立
公・民・学連携によるまちづくりを推進する母体として任意団体を立ち上げ。
- 6月 30日 | 三國湊まち歩きデジタルMAPが完成
坂井市・リコージャパン(株)・福井県立大と連携しUDCSの初事業である三國湊まち歩きデジタルMAPが完成。
- 西村幸夫町並み塾 in 三國
西光寺にて第57回西村幸夫町並み塾を開催。ゲストは一般社団法人ノオトの金野幸雄氏。
- 7月 21日 | 第2回 三國湊夜咄会 開催
テーマは「アーバンデザインセンターって何だろう?」。講師は矢吹CD(当時)。
- 9月 11日 | 第3回 三國湊夜咄会 開催
三國湊の若手シェフユニットSUNS+とコラボして、「食」をテーマに実施。
- 26日 | 一般社団法人「アーバンデザインセンター坂井」設立
さらなるまちづくり事業の展開を目指し、任意団体を解散し、一般社団法人へ移行。
- UDCS裏蔵改修プロジェクト始動
高橋ADの着任とともに蔵の改修計画がスタート。
- 11月 23日 | 第4回 三國湊夜咄会 開催
東大生による三國の生活に関する調査結果の報告と、「釣り」をテーマにしたディスカッションを実施。



三國高校と東京大学の
コラボレーションがスタート!



7月1日には、UDCSの
WEBサイトがオープン!

高橋ADが
UDCSに着任!



平林AD、松原ADが
UDCSに着任!



- 23日 | 丸岡城周辺地区の調査開始
UDCS、東京大学・福井大学の学生チームによる丸岡城周辺地区の調査がスタート。
- 27日 | 「公・民・学連携のまちづくり～UDCに関するミニ講演会～」開催
柏市・三井不動産(株)の方を講師に招き、「公・民・学連携のまちづくり」をテーマに講演会を実施。
- 12月 27日 | 三國高校空き家活用イベント「町家プロジェクト」開催
総合学習「空き家を使ったイベント企画」の一環で4棟の空き家を活用。



2019

- 1月 19日 | UDCSオリジナルデニムバッグ販売開始
UDCSのロゴをデザインしたオリジナルデニムバッグを事務局にて販売開始。
- 一般社団法人UDCS設立記念パーティー 開催
一般社団法人化を記念した立食パーティーを開催。
- 27日 | 第5回 三國湊夜咄会 開催
「第1回UDCS裏蔵ワークショップ」を兼ねた夜咄会を開催。活発な意見交換がなされました。
- 2月 24日 | 第2回 UDCS裏蔵ワークショップ 開催
土蔵の使い方ワークショップの第2弾。キッチンや2階の設計について議論。
- 26日 | 東京都市大学北見幸一先生レクチャー 開催
1日目はPRに関する北見先生のレクチャー、2日目は意見交換会を開催。
- 3月 16日 | 第3回 UDCS裏蔵ワークショップ 開催
裏蔵完成前最後のワークショップ。計画案がほぼ確定。
- 26日 | 丸岡まちづくりフォーラム 開催
東大生による調査結果報告とパネルディスカッションが行われました。ゲストは(株)フォルクの三島由樹氏。
- 27日 | 2018年度三國まちづくり研究報告会 開催
東大生による三國湊での研究成果の報告会を旧森田銀行本店にて実施。
- 4月 01日 | UDCS事務局 新メンバー加入
土井祥子がチーフディレクターに着任。
- 13日 | 「くらはぼん」竣工記念式典 開催
裏蔵「くらはぼん」の竣工式を開催。お囃子の演奏や餅つき、ついた餅の振る舞いなど賑やかな式に。
- 5月 19日 | 第6回 三國湊夜咄会 開催 (三國祭前祭)
新任の土井CDによる雄島祭のレポートと、倉橋SDによる三國祭のレクチャー。
- 20日 | ぶらっと!ちゃっと! 三國まちづくりカフェ 開催 (三國祭本祭)
東京大学が三國に関する研究パネル展示を実施。三國高校生がサポート。



笏谷石が
蔵前から出土!



UDCSグッズ第2弾!
パーカーの販売がスタート!

佐藤AD、村田ADが
UDCSに着任!



第3弾オリジナルグッズ
三國提灯手ぬぐいを三國
祭にて販売!いとや提灯店
とコラボして作成!